

2000 年度末役員会報告

【日時】 2001 年 3 月 9 日(金) 19:00～21:40

【会場】 筑波大学附属高校 2F 応接室

【出席】 幹事…高橋義雄・仲澤眞・長岡茂・鈴木崇正／監査役…笹原勉／代表…中塚義実

【欠席】 幹事…堀美和子(あらかじめ意見を頂いた)

【議題】 2000 年度を振り返って／2001 年度へ向けて／その他

<目次>

< I > 役員会の位置づけと総会

< II > 2000 年度事業報告及び決算

1. 事業報告 (報告)
2. 会計報告 (報告・審議)
3. 2000 年度末の総会について

< III > 2001 年度に向けて

1. 会員募集及び会員名簿の作成
2. 5 月の総会について
3. 月例会について
4. プロジェクトについて
5. サロン 2002 通信について
6. メーリングリストについて
7. ホームページについて
8. 他地域との交流について

I. 役員会の位置づけと総会

サロン 2002 規約には、「定例総会は、毎年 3 月及び 5 月に開催する」こと、「総会は、サロンのホームページ上においても開催することができる」こと、そして附則には、「事業計画及び予算については、当分の間、第 13 条の役員会の議決をもって第 11 条の総会の議決があったものとみなす」こととなっています。

「毎年 3 月及び 5 月に開催する」のは、サロン 2002 が単年度型の組織であるからで、3 月総会でその

年度の事業報告と決算を、5月総会で新年度会員による事業計画と予算の審議が必要となるからです。厳密に言うと単年度ですべて完結させることとなるのですが、会員制組織となる以前からのサロン2002の歴史と継続性を重視して、役員会では、引き継げるものは引き継いでいこうということになりました。具体的には、残金を次年度へ繰り越すということと、会員募集を一からやり直すのではなく、2000年度の会員は簡単に更新できる方法を採用することです。

「3月及び5月」と年2回、しかも開催月が規定されているのはかなりしんどいなあという感じです。役員会でも、「サッカーカレンダーに合わせて集まりやすい時に総会を開催できるように規約を改正してはどうか」との意見もありました。しかし逆に、開催月を明記することによって、総会開催(皆が集まる機会を設ける)の目標がはっきりします。また、本規約自体が2000年6月5日に制定され、まだワンサイクル回っていないこともあり、とにかくこれで一度やってみようということになりました。

「総会」というと、ある種独特のイメージがありますが、サロン2002は柔軟にものごとを捉え、開拓していく組織です。総会を「ホームページ上で開催することができる」としたのも、新しい総会のあり方を模索する試みです。ただ、年末に立ち上がったばかりの「サロン2002オフィシャルサイト」には、現時点で議論を展開する場は用意されていません。そこで、本メールをもって総会開催とし、1週間の期限を設けて会員からの意見を募りたいと思います。本来なら全員の方から「確認しました」の連絡を頂くべきですが、後述する2001年度の会員募集とあわせて混乱が予想されます。そこで、総会の議題に関しては「賛否」を問う形でなく、ここに記載されていることに関して「何かあったら連絡」していただきたいと思います。建設的な意見は大歓迎ですのでどしどしお寄せ下さい。

サロン2002は「ゆるやかなネットワーク」であると同時に、会員制のきちんとした組織でもあります。昨年度の見直しの際に、組織としての意思決定をどうするのかということも大きな議題となったのはご存知の通りです。代表者個人に委ねるのは組織としてリスクが大きすぎる。かといっていちいち全会員に問うては小回りがきかない。そこで「役員会」が位置づけられ、そこでの議決に重きを置いたのが附則5の主旨です。

ただし、役員会メンバーがサロン2002の中核で、それ以外が周縁であるとは毛頭思っておりません。むしろサロン2002という組織は会員一人ひとりが自立した存在であり、これを読んでいるあなた自身が「サロン2002」そのものであるという自覚がベースとなっています。「誰かが何かをしてくれる」ではなく「自分には何ができるか」を考える人がこの組織の会員であるということを忘れないでください。

規約上、「事業計画及び予算」については役員会の議決を持って総会の議決があったこととすとなっています。5月の総会では、2001年度の実業計画及び予算について議論したいのですが、2001年度の会員募集など、立ち上げの部分については、役員会の判断にお任せいただきたいと思ひます。

II. 2000年度事業報告及び決算

会員数 149人(うち16人は会費未納)

1. 事業報告(報告)

- 1) 月例会…毎月開催。期日・会場・テーマはホームページ参照
収支は以下の通り。

月例会収支(2001.2.28現在)

期 日	参加者数	参加費計	発表者謝金	報告書作成費	会場使用料	残 金
2000.4.25	20	20,000	両角 0	中塚 5,000	0	15,000
2000.5.18	19	19,000	徳田 10,000	笛木 5,000	0	4,000
2000.6.16	19	19,000	高橋 10,000	笛木 5,000	0	4,000
2000.7.23	21	21,000	清水 10,000	石坂 5,000	0	6,000
2000.8.10	13	13,000	宇都宮 10,000	笛木 5,000	0	-2,000
2000.9.19	11	11,000	葉梨他 10,000	新田 5,000	0	-4,000
2000.10.27	11	11,000	FPro1 10,000	杉村 5,000	0	-4,000
2000.11.22	12	12,000	宇都宮 10,000	宇都宮 5,000	0	-3,000
2000.12.21	14	14,000	FPro1 10,000	中塚 5,000	0	-1,000
2001.1.25	13	13,000	本多他 10,000	田尻 5,000	0	-2,000
2001.2.17	21	21,000	梶野 10,000	中塚 5,000	5,600	400
2001.3.16						
				残金計		13,400

- 1) プロジェクト…フットサルプロジェクト1(F.Pro1)が報告書をまとめる段階である。
- 2) 合 宿…7月末に筑波にて、スポーツ産業学会にあわせて開催。盛会であった
- 3) 出 張…8月末に新潟にて開催。経費の面では合宿扱い(基本的には自己負担。一部新潟側が負担)
- 4) 通 信…毎月初旬をめどに、全会員に送信されている。
- 5) メーリングリスト…管理人が松下徹氏から湧田龍治氏に。投稿数が伸びない
- 6) ホームページ…12月25日に立ち上げ。設計・更新ともFCJAPANが担当

2. 会計報告(報告・審議)

まだ3月例会が終わっていないので決算はできないが、現時点での報告をしたい。最終的には3月末に改めて決算報告をしたい。

収入		382,193 円	(3 月 9 日 現 在)
	会費収入	382,000 円	注 1)
	利 息	193 円	
支出	名簿印刷費	84,000 円	
	名簿郵送経費	42,600 円	
	サロン 2002 通信経費	90,000 円	注 2)
	ホームページ立ち上げ経費	100,000 円	注 3)
	プロジェクト補助(報告書印刷費)	約 30,000 円	注 4)

なお、月例会の収支が現時点で 13,400 円の黒字となっている。3 月例会を終えた時点で、月例会残金を全体会計に組み込む。

全体会計の残金は、2001 年度へ繰り越す。

注 1) 会費未納者が現時点で 16 人いることも決算できない理由の一つ。該当者には会計担当の川井氏から直接連絡が行く。3 月 22 日からは 2001 年度の入会エントリーと会費納入がはじまるので、遅くとも 3 月 21 日までには 2000 年度分の入金を終えて頂きたい(まとめて入金しないようにお願いします)。

注 2) 毎月送信している「通信」を 1 件 50 円として、150 人に年 12 回送信した計算である。実際は、会員数は 149 人(年度当初はもう少し少ない)、送信回数は年 12 回以上だが、それらをならして考えこのように判断した。通信費が財政を圧迫することのないように、かつ送信者の持ち出しを極力抑えることを考え、郵送した場合の 80 円(～90 円)よりも安い値段、ちょうど葉書程度として設定した。

注 3) ホームページ立ち上げには、(株)クラブハウス(FCJAPAN 主宰)の、会員としての誠意に依るところが大である。

注 4) プロジェクト補助は、具体的にはフットサルプロジェクト 1 報告書の印刷費補助である。現在報告書は印刷屋に回っているところで、総額 5 万円程度。プロジェクトの所持金 2 万円(2 回の月例会経費をプール)と合わせて経費を捻出した。

3. 2000年度末の総会について

3月の総会は「ホームページ上」にて行う。ただし、ホームページ上で開催できるだけの準備が現時点できていないので、本メールをもって総会開催としたい。

何かあればご意見いただき、今後の運営に反映させていきたい。2001年度に関する内容は、5月の総会(後述)で議題として取り上げたい。

Ⅲ. 2001年度へ向けて

1. 会員募集及び会員名簿の作成

3月22日に改めて案内し、それから3週間+α(3月22日～4月13日)を更新または退会の意思表示期間とする。2000年度会員は以下の要領で手続きすることとなる(詳細は3月22日の連絡参照)。

1) 「更新希望」か「退会希望」かの意思表示をする

これは「サロン2002通信」が届いているかどうかの確認作業でもあります。

2) 「更新希望」の場合、「2001年度会員名簿」の原稿を昨年度と同様の形式で代表者に送信する送っていただいたものがそのまま名簿の原稿となるのは昨年度と同様です。更新希望だが名簿の内容については変更を希望されない場合、「名簿はそのまま」とお書き下さい。ただ、せっかくの年に一度の切り換え時なので、近況報告を兼ねてたっぷり書いてもらえると、互いにとって有益だろうと思います。なお、ホームページの名簿欄に掲載してもよい個人の属性についても同時にお書きいただきます(拒否権あり。これについては後述)

3) 会費納入

2001年度も一口2000円。何口でも可。3月22日～4月13日の期間内に指定の口座へ入金して下さい

2. 5月の総会について

5月の連休中(5月4日が有力)に「サロン2002総会」を都内で開催する。当初、「公開シンポジウムを開催して…」との考えもあったが、「イベントと絡めるのではなく、純粹に会員が顔を突き合わせる総会にしよう」ということとなった。総会後はもちろん懇親会。期日等決まり次第ご連絡します。

3. 月例会について

従来どおり、月一ペースで行う。会場も筑波大学附属高等学校を「ホーム」とするが、時には場所を変えて開催したい。「出張サロン」ほど遠くはないが、ちょっとしたお出かけぐらいの範囲、たとえば一橋大学や日本女子体育大学、あるいは横浜近辺などが候補地(「お出かけサロン」という名称はいかがでしょうか)。これにより、普段なかなか会うことのできない会員が参加でき、月例会がより身近に感じられる。また、そこでのサロンが定例化することも考えられ、輪が広がるだろう。

4. プロジェクトについて

「フットサルプロジェクト 1」は、報告書完成を持って解散。2001 年度からは「フットサルプロジェクト 2」の立ち上げが水面下で進行中。

ワールドカップ前年でもあるので、2002 年 FIFA ワールドカップに絡めたプロジェクトを立ち上げたい。そして、6 月下旬～7 月あたりに、「ワールドカップ・プロジェクト」(仮称)主催で、例えばボランティアに関するシンポジウムなどを企画したい。

2001 年度はあらかじめプロジェクトへの予算も配分する(5 月の総会までに検討)。

5. サロン 2002 通信について

会員の関わる催し案内や出版案内、プライベート情報など、各会員からの情報が掲載できるようにしたい。

6. メーリングリストについて

「活性化させるにはどうすればよいか」を議論したが、互いのことがわかっている会だからこそ、無責任な発言、言いつばなしの発言ができにくく、それが投稿の敷居を高くしているのではないか(逆に、匿名で参加出来るMLでは、その匿名性によって無秩序な状況となり、本来の主旨とは大きくかけ離れてしまった報告を聞いている)との分析があり、無理に活性化を図ることはない、今のような利用のされ方でよいのではとの意見が出された。

7. ホームページについて

1) 名簿の扱い

1 月例会の議論でもあったように、「サロン 2002 という組織はこういう人たちによって構成されている」ということをHP上である程度開示していないと、せつかくの情報の信頼性が失われる。どういう主旨の団体で、構成員にはどのような人がいるのかを示すことは、第三者へ向けて責任を持った情報発信

をする際の最低限のマナーではないか。

このような考えに基づき、HPの名簿欄に、氏名のあとに個人の属性を掲載するのはどうかと議論した。

ここでいう個人の「属性」は、職業や身分のことだけでないことは、サロン 2002 が何かを考えればわかるだろう。サッカー・スポーツとどのように関わっているのか、あるいは 21 世紀の"ゆたかなくらしづくり"にどう関わっているのかがここでいう属性である。私の場合、堅く書くなら「筑波大学附属高等学校保健体育科教諭。サッカー部顧問」とでもなるが、人によっては「日本代表サポーター」かもしれないし、「草サッカープレイヤー」かもしれない。サロン 2002 の大切な構成員で、サロン 2002 そのものとも言える「あなた」は誰なのですか、ということである。

ただ、それでもなお、「氏名以外に公表したくありません」という方に無理に属性開示を求めることはしない。その場合は「(属性は公表しない)」と意思表示してもらいたい。

逆に、どんどん情報公開していきたい方のために、名簿から個人のページへリンクすることも考えていきたい(といっても私にはそのような技はないので FCJAPAN で検討してもらいます)。

2) 月例会報告について

「サロン通信と同じものがHPに掲載されると会員としてのメリットが失われるのではないか」という意見も出た。しかし、そもそもHPをつくったいきさつが、「ここで議論されている内容をより多くの人に伝えたい」ということなので、ダイジェスト版にしてしまうと本来の主旨からそれる。今後とも通信と同様の内容を掲載していきたいと思う。会員としてのメリットは(繰り返しになるが)、「会員名簿」が届くこと、月例会案内の載っている「サロン 2002 通信」が届くこと、「プロジェクト」の発起人になることができることである。

なお、月例会のバックナンバーも、できるだけさかのぼって掲載していきたい。

3) インフォメーションについて

どこまで掲載するか判断は、代表者の中塚と、HP担当役員でもある鈴木の両名で判断していきたい

4) リンク集について

リンク集を充実させようとの意見があったが、商業ベースのサイトではないので、必ずしもここに重きを置く必要はないと判断した。ただ、来る者は拒まずの姿勢でいたいので、会員からの希望があればどんどん掲載していきたい。

5) 検索エンジンへの登録をどうするか

登録する。FCJAPAN に依頼

6) 更新にかかる経費をどのように算定するか

(株)クラブハウス(「FCJAPAN」主宰)としては、「powered by FCJAPAN」が入ることでOKとのこと。2001 年度も、本多氏や田尻氏など、サロン 2002 会員の誠意でやってもらうことになった。よろしくお

願います。

8. 他地域との交流

「出張サロン」は、現時点で静岡県清水市(宮城島清也氏)より希望あり。是非実現させたい。

サロンドトウカイ、サロン 2002in にいがた(Alliance2002)、軽茶会など、関連するサロンとの交流を続け、ネットワークを広げていきたい。